NPO法人 子どものいのちを守る会 https://empowering-children.tokyo/

Protect Children's Life

Empowering Children

10/ 2022
令和４年１０月号
2022 October

ユニセフ（UNICEF） 子どもたちに影響する世界：先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か

ユニセフの 2020 年の調査「レポートカード 16」によれば、日本の子ども / 若者の精神幸福度は主要 33 カ国中 32 位であった、という報告があります。衝撃的でもあり、確かにそうかもしれないなと思い当たる節もあります。

かつて行ったメキシコのとある地方都市では、村中の子供が皆物乞いをしていました。服もボロボロです。それでも皆屈託なく楽しそうに遊んでいました。暗い表情の子は誰もいませんでした。日本には無表情な子、滅多に笑わない子が時々います。この違いは何なのでしょうか。

ユニセフの調査における精神幸福度とは 2 つの指標で構成されています。評価項目によっては実施していない国があったりなかったりするので母数にはばらつきがあります。

① 15 歳の生活満足度　5 を「普通」として 10 段階で評価（33 カ国中 32 位）
② 15-19 歳の自殺率（41 カ国中 31 位）
これとは別に子供をとりまく環境の評価項目として
③ 5-14 歳の死亡率（41 カ国中 9 位）
④ 肥満率の低さ（41 カ国中 1 位）案の定、といいましょうか最下位はアメリカ
⑤ 数学、読解力分野の学力（39 カ国中 5 位）
⑥ 社会的スキル（設問「すぐに友達をつくることができますか？」40 カ国中 39 位）

この 6 項目を加算して得た総合的な日本の子ども / 若者幸福度は 41 カ国中 20 位でした。
これらの結果が示すものとしては、
★日本は事故死や病死が少ないものの自殺が多く、「安全」だが「幸福」ではないということ
★食事面では非常に優秀
★学習面でもかなり優秀で「ゆとり教育」の失敗後よく挽回していると思われること

物理面ではかなり良い環境を与えているはずなのに何故か子どもたちの満足度は低い。日本では自殺が若者の死因の 1 位です。他国ではほとんど見られないことです。また飢餓に苦しむ子どもはここ 20 年で世界的に激減しており、栄養失調の指標は肥満率により評価されるようになりました。肥満率においては他国をかなり引き離して低く、日本の食材食事が非常に栄養バランスに富んでいることを表しています。海外観光客が日本を訪れる理由の第 2 位が「食事」だという調査もあります。美味しくて健康的である日本食の良さは当会としても引き続き訴え続けるべきだと思いを新たにしています。

今回もまた紙面が尽きました。次号に続きます

NPO法人 子どものいのちを守る会
〒162-0805
東京都新宿区矢来町 123　矢来ビル 3F　Tel. 03-5227-1877
お問い合わせ
kdm.mamorukai@gmail.com